

最近の坂口さん

ライフ展出品作家の坂口恭平さんは、「私もやってみようかしら？」と思わせる楽しい「創造」を生み出す達人です。展覧会期間中に取組み始めたのは、なんと「畑」！？わずか、2か月弱で、美味しそうな野菜をどんどん収穫し始めています。そんな坂口さんのここ最近の‘ライフ’をレポートします。

* 画像の出典はすべて坂口恭平 twitter@zhtsss

●畑

坂口さんの畑があるのは、熊本市西区。作品の中にも度々登場する河内町につながる道沿いにあり、そのうち2区画を借りて4月25日から始めました。



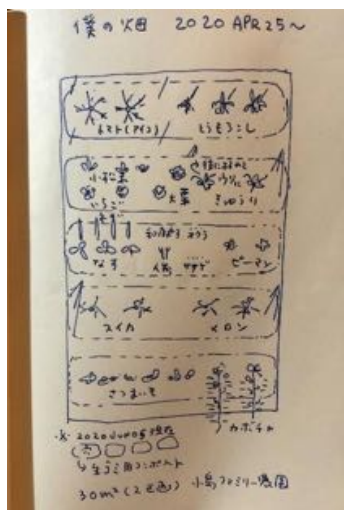
●ジュエリー

夕陽を見に行った海岸で拾った漂着物でつくったペンダント。おしゃれですね！



●野菜の種類

現在、植えているのは、トマト、とうもろこし、小松菜、苺、大葉、きゅうり、ねぎ、茄子、和唐辛子、ニンジン、オクラ、ササゲ、ピーマン、スイカ、メロン、さつまいも、かぼちゃの17種類！毎日通っています。



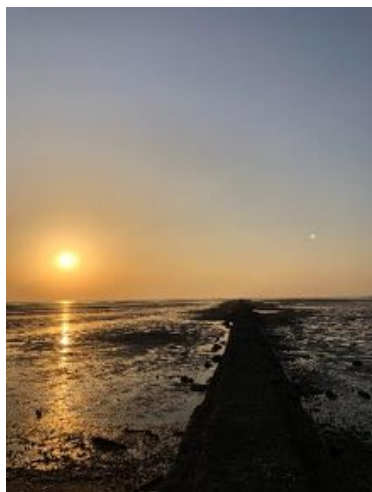
●執筆デスク

ナショナルの70年代スピーカーを二つ積んだという、立ったまま執筆できるデスク(!)腰痛予防にもなる、サウンドシステムデスクです。



●夕陽

メランコリックな気持ちになるので、苦手だなと思っていた夕方の時間帯も、畑に行くうちに次第に好きになっていったそうです。



●パステル①

坂口さんの最近のお気に入りの画材は70色のパステル。パステルは、油絵のような質感があり、乾燥をまたずに直感的に作業できます。描く感触もダイレクトで、坂口さんの描画スタイルにマッチしてるのかも！



●読書①

一人になった時に、少しずつ読み進めているという、W.G.ゼーバルト『空襲と文学』、白水社刊。



●パステル②

童画のようなタッチのステキなパステル画が1日3枚ペースで描かれています。次はとうとう絵本作家デビューでしょうか！？



●執筆

雑誌『ポパイ』no.878「そろそろ自分たちで料理をしてみないか。」の巻頭ページに「手の旅のはじまり」を寄稿。連載ページはギターのお話です。



●絵の参考図書

ユリー・シュルヴィッツ『よあけ』福音館書店刊。ポーランド生まれの作家の絵本ですが、モチーフになっているのは、唐の詩人・柳宗元の詩「漁翁」だそう。



●個展

「forever overhead 永遠に頭上に」ギャラリーTRAXにて。1時間に1組ずつの貸切で行いました。富士山が綺麗に見える八ヶ岳にあるというギャラリー、一度伺ってみたいものです！



●陶芸①

腰の調子も良くなってきたので、陶芸も再開。この土は美濃の井戸茶碗用のものを使用。どんな感じに仕上がるのか！？



●読書②

藤原辰史『分解の哲学 腐敗と発酵をめぐる思考』青土社刊。農業史、食の思想史を専門とする著者の本。面白そうですね。



●ガラス

母の日にお母さんにプレゼントしたガラスの花瓶。もちろん坂口さんの自作です。口のぽってり感が愛らしく、サイズもすごく使いやすいそうです。



●ニューアルバム発売

坂口さんのお子さんのアオちゃんとゲンちゃんによるアルバム『クマと恐竜』がついにリリース。このジャケットの寝っ転がってベビースター食べてるポーズがまた、最高です！



●パステル③

まさかの具象画！写真で撮った風景をパステルで描いているそうです。写真を使っていたというセザンヌさんが師匠とのこと。



●坂口恭平美術館

坂口さんが希望者に自作の陶器を無償で貸し出して鑑賞してもらう「坂口恭平美術館」。信用貸しした作品たちが無事、戻ってきました！



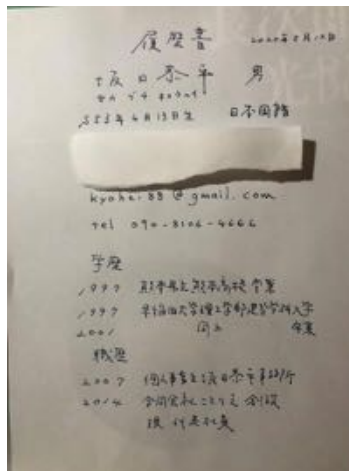
●ノラジョーンズ

畑に毎日やってくるという野良猫、通称・ノラジョーンズさん。人間以外のお友達も畑では増えてくるようです。



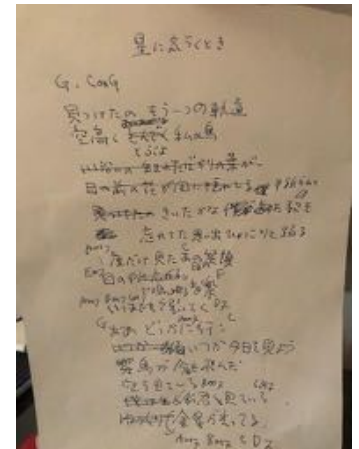
●坂口恭平大学教授道

母校の早稲田大学に提出した坂口さんのとってもレアな、手書きの履歴書！坂口さんの字は、とても味があって上手です。



●「星に気づくとき」

作詞作曲も行っています。詩に出て来る風景は、畑仕事の合間にみた空から生まれてきたのでしょうか。



●陶芸②

坂口さん自作のティーポット。取っ手は江津湖で採取した藤の蔓でつけたそう。畑のお隣さんからおすそ分けいただいたミントティーを飲むのが日課のひとつ。



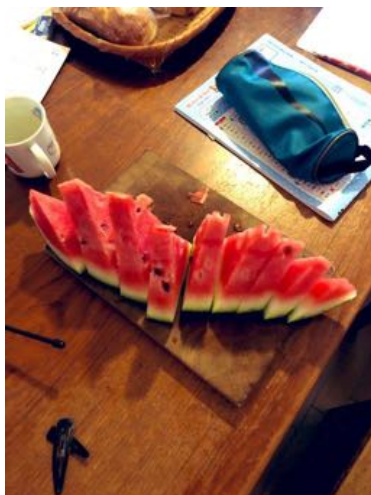
●裸足と下駄

坂口さんが歩いてくると独特の足音でわかります。畑では裸足。手や足を直に地面につけると、余計なエネルギーが放電され、とても体調がいいそうです。



●旬の野菜・果物

畑を始めたら、おすそ分けも増えて、旬のものをたくさん食べるようになったそうです。熊本では、梅雨に入る前にせっせとスイカを食べます！（梅雨を越すと水っぽくなるため）



●乗馬

ライブ明けに、まさかの乗馬（！）畑と同じく、現代人が忘れてしまった感覚を思い出させてくれそうです。



●お隣のシミズさん

畑の隣人・シミズさんからは「坂口さんは畑が初めてとは思えない！とても綺麗で上手。ここは土もいいからきっと美味しい野菜ができるし、才能があるよ！」と言われたそう。そんなに褒めていただけるなんて、嬉しいですね！



●ショートパンツ

型紙をとってからミシンで縫い始めたショートパンツ。さらりとした生地がこの季節にぴったりです。



●陶芸③

いただきもののそら豆を熊本の陶芸家・小代焼ふもと窯の井上尚之さんの所で作らせてもらったスリップウェアにのせて。香ばしくっておいしそうです。



●収穫物と竹かご

畑で大葉やピーマンなどがとれるようになってきました。近くで見つけた籠名人の作品もステキです。



●「自作ギターの音色に直接耳を傾ける会」

コロナ後の初ライブに、展示中のギターが出張。会場の窓を開け放ち、夜風を感じながら、坂口さんの演奏に耳を傾ける素敵な一夜でした！



●超健康優良児

日に焼けて、すっかり凛々しくなった坂口さん。鬱にならない秘訣は「検索を今すぐやめて、畑に行くこと」だそうです！

